

## 大阪・関西万博 会場内で見られる滋賀県ゆかりの施設等

項目	滋賀との関係	エリア
いのちの未来 (シグネチャーパビリオン)	石黒浩氏(高島市出身)がプロデュース	シグネチャーゾーン
いのちの遊び場くらげ館 (シグネチャーパビリオン)	信楽焼のレンガや椅子が使用されている (プロデューサー:中島さち子氏)	シグネチャーゾーン
EARTH MART (シグネチャーパビリオン)	屋根に近江八幡市円山町(西の湖)のヨシが使用されている (プロデューサー:小山薫堂氏)	シグネチャーゾーン
いのちめぐる冒険 (シグネチャーパビリオン)	プロデューサーの河森正治氏が令和6年7月より、(株)人機一体(草津市)の人型重機(ロボット)の共同開発プロジェクトに参画 河森氏には本県でもご講演いただいた(R7/3/26万博しが)	シグネチャーゾーン
信楽焼のテーブル・スツール	信楽陶器工業協同組合が製作 (Co-Design Challengeプログラム(万博の公式プログラム))	フューチャーライフゾーン フューチャーライフビレッジ内
運営スタッフ(※)の帽子 ※主に屋外で従事	高麻(株)(高島市)が製作した、琵琶湖岸のヨシを素材とする生地から製作	—
サービスアテンダント(※)のインナーシャツ ※主に屋内で従事	(株)ピエクレックス(野洲市)が製作	—

関西パビリオン外観



EARTH MART



信楽焼テーブルスツール



運営スタッフ帽子



# 会場図

万博会場は大屋根リングを中心に、8つのゾーンで構成されています。

信楽焼テーブル  
スツール

